

街づくり民が引っ張る



咲洲地区のイベント・グルメ情報を集約したホームページ

船場・咲洲に相次ぎ組織

大阪市内で民間企業の主導による街づくり組織が相次いで誕生した。中央区の船場地区では、経営コンサルのSOHO技術研究所（大阪市、畑真八郎社長）など二十五社が発起人になり「船場クリエティブ・ポート推進協議会」を設立した。業種・職種を問わず創造的な仕事をする人を多数

「知的創造地域」／HPに店舗情報

登録し、船場地区を「知的創造集積エリア」としてPRしていく。地区では、不動産開発のアーバンコーポレイションなどが発起人になって

大規模開発が進むキタ・ミナミの街と対照的に、中間の船場地区は「綿業会館」など歴史的な建造物が目立つ。周辺の老朽化したビルを情報技術(IT)やアート関連のビジネス拠点に再生して、新旧織り混ざった活気のある街づくりを目指す。一方、住之江区の咲洲

「咲洲CLASS実行委員会」を設立した。アジヤ太平洋トレードセンターや大阪ワールドトレードセンターと組み、地区内のテナント店舗やイベント情報を紹介するホームページを作った。今後は夜間のイルミネーションやひまわり一万本の植栽などで街おこしを図る。